

鎌仲ひとみ監督 『カノンだよりvol.4』
上映会

+ 伊藤礼シタールライブ

福島ーチェルノブイリ
国境を越えて
“被ばく”から子どもを守る
母たちのドキュメンタリー

●日時● 4月1日(水)

12:00~/19:00~(2回上映)

●場所● 横沢の野菜直売所

甲府市朝日2丁目2-3

tel: 055-251-5149

<http://ccnet.easymyweb.jp/member/machiekitheyoko/>

●入場料● ¥1,000

◆タイムスケジュール◆

11:00 開場

12:00 上映スタート

13:30 シタールライブ

14:00 フリータイム(自由解散)

18:00 開場

19:00 上映スタート

20:30 シタールライブ

21:00 フリータイム(自由解散)

●主催● アマヤドリ食堂

季節の野菜を使った創作家庭料理と
本格インド風カレーの料理ユニット

●当日menu● 季節野菜のプレートごはん

濃厚バターチキンカレー

(チャイor自家焙煎炭火焼コーヒーset)

各¥1,000

ドリンク・ケーキ等の単品注文もok

□上映前のご注文も可能です。上映中もお気軽に食事や飲物をご注文ください。



アマヤドリ



チェルノブイリ原発事故後のベラルーシ、ウクライナの人々。
そして、今も収束しない福島第一原発事故と共に生きる日本の人々。
交差する視点が、今の私たちを浮かび上がらせてます。

『カノンだよりvol.4』

【あらすじ】

●つながるチカラ ~関西ミーティング編(11分半)

東京電力福島第一原発事故から、多くの母たち、女たちが「子供たちを放射能から守る」ため、保養・自主避難・支援を行ってきた。その活動を繋げる「子供たちを守る全国ネットワーク」の活動の関西ミーティングの様子をレポート。

●若い女性が発信する福島の今(9分)

"ふくしまの女子"が暮らしについて考え、さまざまな情報を発信する「女子の暮らしの研究所」。彼女たちが主催する福島を巡る"Re:tripツアー"。飯館村の大量に積まれた除染土。津波被害から復興しない町。ツアー参加者が目にする、福島の今は。

●母であることーその思い(14分半)

原発事故後、子供たちの体調の変化を感じ、新潟に母子避難した磯貝さん。国の指定区域以外から県外への避難者に対し、補償はほとんどない。その中で暮らす厳しさや憤りを抱えながら、子供を守りたいという思い。そして、母子とは離れて暮らす夫であり父の思い。

●それぞれの自主避難(13分)

事故前から原発廃炉を訴える"ハイロアクション"に参加してきた宇野さん。京都へ母子で移住した。夫も、仕事場と京都を往復する2重生活を送っていた。新生活を送りながらも「避難者であり続ける」ことの意味とは。

●言葉ではなく生き方で~荒木田さんの場合~(12分半)

社会学者の荒木田岳さんをレポート。「美味しんぼ騒動」で渦中の人となった当時、何が起きていたのか。母子避難をする家族から離れ、福島で暮らしながら現状の異常な状態を訴え続けている。そして、荒木田さんが貫く生き方とは。

●peach heart:女子の気持ちを掬いとる(12分)

故郷の福島で「本音で繋がる場作り」を目指して"peach heart"を立ち上げた、鎌田千瑛美さん。本音で語りづらな環境の中で、どうやったら繋がって行けるのかを模索し続けている。「女子会」で聞こえてきた、子供でも母親でもない若い福島の女の子達の本音は？

●市民科学者 ~ベルラド研究所の取り組み~(12分)

チェルノブイリ原発事故以降、民間で放射能、被ばくの研究を重ねてきたベルラド研究所。親子2代に渡り所長をつとめてきたオシベンコさんのインタビュー。ベルラド研究所がサポートする保養前後に行う内部被ばく量の測定。そして、技師、保養担当者が語る真実。

18弦で奏でるインドの伝統楽器シタールライヴ

シタール奏者 伊藤 礼 イトウレイ

10歳の時にシタールを始める。
2006年より、実の父であるシタール奏者伊藤公朗氏に師事。
2010年より、シタール奏者として本格的に活動を開始。
3.11福島原発事故を期に、東京から山梨に移住。
以後、音楽を軸に生きるとはなにか、という漠然としたテーマを模索中。
<http://itorei.jugem.jp>

3.11原発事故から4年の月日が経ちました。
放射能汚染と原子力の問題は、これから生きていくわたしたちが人としてどう生きるか、という本質が問われている気がします。
まずは知ることから、想いを馳せることから、みなさんとともに一緒に始めていければ幸いです。

●▽▲◆■▲◆●▽▲◆●▽▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆ ■ 伊藤 礼

◆お問い合わせ・予約申し込み◆

アマヤドリ食堂

東京高円寺の自然食カフェにて料理長として3年半勤務、ジャンルを問わない創作家庭料理と焼き菓子担当の佐藤えまと、シタール奏者でありスバイス料理を得意とする伊藤礼による料理ユニット。

tel: 090-3752-6975 emachannel.82@gmail.com



●▽▲◆■▲◆●▽▲◆●▽▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆■▲◆●▽▲◆